

第2回府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会 会議録（要旨）

■開催年月日 令和4年3月1日（火） 午後3時から午後3時40分まで

■開催場所 府中駅北第2庁舎3階会議室

■出席委員等 11名（名簿順）

森本章倫委員、大門創委員、今佐和子委員、酒井浩一委員、高橋栄二委員（代理：村瀬寛和 氏）、徳差宣委員、堀木智浩委員、榎本聡委員（代理：浜口弘 氏）、篠田貴宏委員、早田俊介委員（代理：南波達也 氏）、野口勉委員

■事務局

松村都市整備部長、高橋都市整備部次長兼計画課長、古田地域安全対策課長、塩澤道路課長、伊藤道路課道路企画担当主幹、日原地区整備課長、酒井地区整備課長補佐、川村地区整備課事業調整担当主査、賀戸地区整備課鉄道計画担当主査、吉野地区整備課拠点整備担当主査、増田地区整備課主任、関地区整備課事務職員、

■欠席委員 3名

板垣友圭梨委員、小池毅委員、芝寄一郎委員

■傍聴者 3名

■議事次第

1 開会

2 議題

(1) 施策の進捗状況について

(2) 令和3年度の取組について

(3) 都市・地域交通戦略推進協議会のスケジュールについて

3 その他

■会議概要

1 開会

【事務局】 定刻になりましたので、事務局からお知らせいたします。現在、新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止等重点措置が東京都に適用されております。本協議会におきましても、感染拡大防止の観点から時間短縮に努めてまいりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。それでは、開会に先立ちまして、府中市都市整備部長の松村よりご挨拶申し上げます。

【部 長】 本日はお忙しいなか、お集りいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より分倍河原駅周辺地区のまちづくりにご理解とご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。

さて、本市では、市の最上位計画である総合計画が、来年度より第7次としてスタートする予定となっておりますが、分倍河原駅周辺地区のまちづくりは、引き続き総合計画において重点的かつ優先的に実施すべき「重点プロジェクト」に位置付けることとなり、関係各所のご協力をいただきながら、本事業のさらなる推進を図ってまいりたいと考えております。本市といたしましては、同地区のまちづくりを推進する上で要となる「都市・地域交通戦略」に掲げる施策を着実に実現するため、委員の皆様より貴重なご意見を賜りたいと存じますので、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 本協議会について、一部の委員について、人事異動により変更がございました。本来ならば、皆様から自己紹介をいただくところではございますが、時間短縮のため、お手元の「委員名簿」に代えさせていただきます。また、事務局の職員につきましても、お手元の「席次表」に代えさせていただきます。

なお、事務局からお願いがございます。議事録作成のため、本協議会の録音や記録用の写真撮影をさせていただきますので、ご了承くださいますようお願いいたします。また、分倍河原駅周辺まちづくりに係る委託事業者の㈱首都圏総合計画研究所の担当者も本協議会に同席しておりますので、併せてご了承くださいますようお願いいたします。以降の議事進行につきましては、会長である森本委員にお願いしたいと思っております。それでは、森本会長よろしくお願いいたします。

2 議題

【会 長】 ただ今から第2回府中市都市・地域交通戦略推進協議会を開催します。まずは、本日の委員の出席状況について、事務局から報告をよろしくお願いいたします。

(事務局より出席状況の報告)

【会 長】 続きまして、傍聴者の有無について事務局から報告をお願いします。

【事務局】 本日の会議につきましては、2月21日号「広報ふちゅう」にて告知し、3人の傍聴希望者がおりました。

【会 長】 傍聴希望者がおりますので、傍聴を許可してよろしいでしょうか。特

に異議がなければ、傍聴者の入室を認めたいと思います。

(傍聴者の入室)

【会 長】 それでは議事に入りたいと思います。お手元にお配りした次第に従い次第2の議題に入ります。今日の進め方ですが、(1)から(3)まで事務局から一括して説明して頂き、その後、意見交換に入ります。それでは、事務局から説明をお願いします。

(議題(1)～(3)について、配布資料に基づき事務局より説明)

【会 長】 ありがとうございます。それでは委員の皆さまから、ご質問やご意見をお受けしたいと思います。

【委 員】 資料3の駅前の溜まり空間の広場を、これから整備していくに当たって、事務局はまちづくりの機運の醸成を行っていくとおっしゃっていると思いますが、どのようなことを考えているのでしょうか。

【事務局】 機運醸成につきましては、地元の商店街や自治会の代表の方々などにお集まり頂いているまちづくり協議会と、不定期にはなりますが、会合を開いて意見交換を図っているところです。そういった地域の方のお声を聞きながら、先月には市の施設にて開催しましたオープンハウスにて、情報発信をする場を設けました。今後も、オープンハウスなどを活用しながら、イメージ図などを用いて、市民の方に分かりやすい情報発信をしていきたいと考えています。

また、地元に対しましては、地区内の全ての地権者やお住まいの方を対象にまちづくりニュースを作成し、情報発信をしています。そういった媒体なども活用しながら、機運醸成につなげていきたいと思っています。

【委 員】 どうもありがとうございます。まちづくり協議会に出席されている方は、地域の偉い方や男性がメインになってくると思います。広くいろいろな人が使う場所になると思うので、オープンハウスなどで積極的に、できるだけお子さんがいる人や交通弱者に声をかけて、意見を聞いていくと良いと思います。

ついでに、高低差を改善して、交通弱者に優しい広場を目指すとおっしゃっていましたが、まだ完成図ではないと思いますが、このイメージスケッチは、段差があり、ベビーカーの人はエレベーターがあるもののすごく遠回りをさせられるようになるだろうと思ってしまったので、できるだけ心配りをして頂けると良いと思います。今日は府中駅の周辺を歩いていたのですが、他の街と比べると若い人やお子さんが多いと感じましたので、そういう人たちを大切にしてください。

【事務局】 溜まり空間のイメージ図では、バリアフリーのルートについては、右手のエレベーター付近で、東西自由通路の下を通過して改札口に向かうルートとしていますが、あくまでこれは現時点での計画に基づいたイメージとなります。委員からのご意見にありましたように、誰もが通りやすく、弱者の方に心配りができた計画となるよう、溜まり空間の設えは、今後、基本設計、実施設計と進めていく中で、様々な関係者の声をお聞きしながら計画を作っていきたいと考えています。

【会 長】 大変重要な視点なので、皆さんと議論しながらよろしくをお願いします。

【委 員】 資料1で進捗状況の評価は「△（計画よりやや遅れている）」が比較的多くなっていますが、1-1, 1-4, 1-6, 3-1などいわゆる基盤整備に関わるところに起因するところが遅れているという説明だったと思います。その中で資料6のスケジュールを見ますと、次年度にプログラムの見直しといったことが書かれていますが、キーとなる鉄道事業者との基本協定がここに関わってくると思います。差し支えない範囲で可能であれば、基本協定締結に向けて今どのような状況になっているかを共有して頂きたいと思います。

【事務局】 鉄道事業者との基本協定につきましては、昨年3月に基本協定に先行して覚書を締結させて頂き、その覚書の中では、基本協定は今年の9月末を目途に締結していくと定めています。今、計画案の検討を進めながら、様々な協議を行っており、分倍河原駅は崖線の上に建っていることもあって、地形的な課題や費用負担なども含めて協議を進めているところです。計画案が固まって、協議が整いましたら、基本協定を速やかに結んでまいりたいと考えています。

【委 員】 もともと基本協定を締結する目標は令和4年9月ぐらいを想定していたということですか。基本協定自体は遅れていませんが、評価に△（計画よりやや遅れている）が多いのは、基本協定とはまた別の意味で少し遅れているということでしょうか。

【事務局】 資料1の表の上の段が交通戦略を策定したときのスケジュールになっておりまして、そのスケジュール上では令和5年度には現場に着手する予定としていました。現在の進捗からすると、当初の計画よりはやや遅れているということで△（計画よりやや遅れている）の評価をしています。

【委 員】 わかりました。ハード整備は、一回つくってしまうとそうそう変えられないので、少し遅れてでもじっくり議論したほうがいいと思いました。

【会 長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

【委 員】 2つあるのですが、1つはこの広場をつくる時に、商店が100あるうちの約30数店舗が立ち退きになるのです。その代替地が全然考慮されていないので、心配です。かえって賑わいが今までよりもかなり少なくなるということを心配しています。

もう1つは、鉄道事業者の方で、例えば駅ナカの施設をつくるという計画がもしあるとすれば、そちらにみんなお客さんをとられてしまうという心配の声が商店街ではかなり上がっています。鉄道事業者には、そのような案というのはあるのでしょうか。それを聞きたいです。商店街としてのメリットがあまりないのではないかと商店街の皆さんは心配しています。

あと、この広場に普段は車が入れなくて、緊急自動車が来た時にポールを下げて回れるようにというお話だったのですが、他の車は全く入れないようにしてしまうのではないかとということです。緊急自動車にしても、例えば消防車が何台も来たら、ここで行き詰ってしまって動きが取れなくなると思います。旧甲州街道から入ってきて広場の手前を左に抜けるような形で行けるかもしれませんが。

【事務局】 1点目の駅前の溜まり空間の整備によって店舗の数が減ってしまうという意見は以前から頂いているところですが、溜まり空間を整備するこ

とによって、この空間を活用した賑わいづくりを商店街の活性化につなげていきたいと考えておりますので、そのことは地域の商店街の皆様のご意向をお聞きしながら、今後の取組みと一緒に意見交換しながら進めてまいりたいと考えています。

駅ナカ施設につきましては、本日鉄道事業者様にも委員としてご出席して頂いていますが、現在計画している中では、駅ナカや駅ビルをつくって、そこに店舗を入れるといった規模の計画はしておりません。駅舎の建替えのなかで必要な施設を整備していくとの考えのもとに計画案を検討しております。

最後の溜まり空間のイメージ図の中で車止めなどを設置するようになっていますが、溜まり空間については歩行者のための空間ということで、平常時には車が入って来られない形をとりまして、緊急時の消防車や救急車がスムーズに入って来られるように、車止めの設えなども含めて今後設計を進めていく中で検討していきたいと考えています。

【会 長】 鉄道事業者として何か補足あるいはご意見ありますか。

【委 員】 今おっしゃられた通りです。

【会 長】 今のお話でよろしいでしょうか。いずれにしても地元とこれから議論をしながら進めていくということですので、いろいろな懸念はコミュニケーションをとりながら、少しでも良い方向へ決着していけばよいと思います。

他にいかがでしょうか。特になければ私からも一言。前回もお話したと思うのですが、国土交通省としては「駅まち空間」という言葉で、駅と駅周辺のまちづくりを一体的に考えていくやり方を昨年夏に提示をして、マニュアルのような形でお示しています。その中でも、地域の住民の意見をちゃんと聞いて、協働でのまちづくりを進めるということが書かれておりますので、是非そういうのも参考にして頂きながら、具体的なまちづくりを進めて頂きたいというのが1点です。

もう1点は、東京都にはオンラインで入って頂いていますが、「自動運転社会を見据えた都市づくりのあり方」という形で、将来の東京都の駅前広場のあり方についてイメージマップをつくったりしながら今後まとめていく予定です。今月中に公開できるようなものが出てくると思いますので、この辺をご参考にして頂けるとと思いますが、東京都の方で何か補足することはありますか。

【委 員】 森本先生からご紹介がありました、将来的に自動運転技術を都市づくりにどのように活用するかという検討を私の方で進めております。分倍河原駅のように潤沢な駅前広場の空間が無いところで、多様なモビリティが集まってくるようなところをどのように整備していくのかということについて、将来的にこのようなりモート技術をうまく使うことができないうか、私も興味があります。今私たちの方であり方のとりまとめをしており、この検討会は次年度以降も続くと思いますので、とりまとめをしたときに少しご紹介をさせて頂き、将来的なまちづくりに資するご協力をさせて頂きたいと思っています。よろしくお願いします。

【会 長】 北口ももちろんそうなのですが、資料4で南口の再整備の絵がでていますので、自動運転とか、新しいモビリティについて南の方は検討する余地が多いと思っていますので、次回以降ご紹介頂ければと思います。

【委 員】 わかりました。ありがとうございます。

【会 長】 私の方では以上の二点ですが、他にいかがですか。特になければ、次第3のその他に入りたいと思います。

3 その他

【事務局】 はい。事務局から次回の開催についてお知らせします。次回の開催につきましては、令和4年6月頃を目処に開催する予定になっております。

【会 長】 事務局の説明について、ご質問はございませんでしょうか。あるいは全体として他にご意見はございませんでしょうか。

それでは、以上を持ちまして、本日の府中市都市・地域交通戦略（分倍河原周辺地区）推進協議会を閉会とさせていただきます。

以 上